

## 平成29年産 紀南のみかん産地情報

2017/07/06

1. 4月から開花期にかけて、気温が平年に比べ低く推移し、満開日は早生で5月10日と、前年より10日程度、平年より4日程度遅くなった。

満開後は平年を上回る気温と少雨によって、第一次生理落果が多くなった。現在第二次生理落果が始まっている。



2. 本年の早生みかんは表まわりにあたるが、着果は少ない傾向にあり、現在高品質果実生産のため、摘果やマルチ被覆、フィガロンの散布を呼びかけている。

7月5日時点の果実肥大は、早生みかんで果径は26.7mm（前年比81.9%、平年比89.9%）とやや小さい状況となっている。

3. 今年産の生産予想量（7月6日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	196.9	3,131	91.5%	90.1%
早生	463.6	5,915	90.1%	85.7%
合計(普通含む)	664.2	9,073	90.5%	87.1%

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 病害虫については、一部園地でハダニの発生が見られる。

5. 果実生育期の気温は、平年よりやや低く推移している。また降水量は、4月下旬から6月中旬までは平年より少なくなったが、6月下旬には平年を上回る降雨があった。

